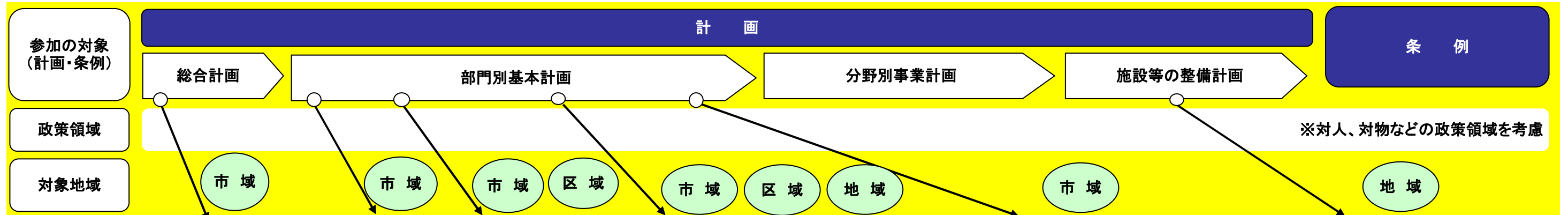


《分類基準》



	新総合計画	多摩川プラン	第2期地域福祉計画 (全市、宮前区)	都市計画マスタープラン (全体、各区、小杉駅周辺地区)	緑の基本計画	鷺沼プール跡地広場整備事業	
趣旨内容	川崎市において、行政が主体となって取り組む、あるいは一定の役割を担うすべての施策を対象とする計画。	多摩川を市民共有の財産として再評価し、より豊かな河川空間の創出をめざして策定した、多摩川に関する総合的な計画。	社会福祉法107条を根拠に、地域における福祉サービスや福祉活動などの推進に関わる一体的な計画として、川崎市全域と各区域を対象として策定。	都市計画法第18条の2に基づく「市の都市計画に関する基本的な方針」で、おおむね20年後の将来の都市像を展望し、土地利用や都市施設整備、市街地整備の方針などを明らかにする計画。	都市緑地法4条に基づき、策定する緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画。	鷺沼プール跡地の配水池上部に広場を整備するに当たり、広く市民の意見を取り入れ、基本構想や基本設計を検討。	
策定年月	平成17年3月	平成19年3月	平成20年4月	平成19年3月 ※小杉駅周辺地区は、平成21年3月	平成20年3月	平成17年3月	
参加の過程	形成	<ul style="list-style-type: none"> ●審議会(川崎市総合計画市民会議) 公募委員20名(20名中) ●タウンミーティング(11回開催、2,851人、意見提出637件) ●市民説明会(23回開催、参加者618人) ●インターネットによる意見募集「川崎市総合計画Online」アクセス件数40,919件<第2期実行計画> ●パブリックコメント(76人、172件) ●タウンミーティング(2,763人、意見提出420件) ●出前説明会(51回、参加者1,780人) 	<ul style="list-style-type: none"> ●審議会(多摩川プラン策定市民会議) 公募委員10名(30名中) ●審議会(多摩川プラン策定委員会) 公募委員6名(12名中) ●パブリックコメント(提出件数55件、意見内容107件) ●アンケート調査(利用者、所有者、沿川法人など(有効回答数39)) ●参加型イベント(計 23回) ・講演会 1回 ・多摩川サロン 3回 ・市民準備会 2回 ・市民中間討議 など ※イベントに合わせて意見募集も行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●審議会(第2期川崎市地域福祉計画策定委員会) 公募委員3名(20名中) ●パブリックコメント115件 ●区民説明会434名(7区合計) ●アンケート調査 ●かわさき市民アンケート ●地域福祉実態調査 <p>※各区の状況は別紙参照</p>	<p>全市、各区</p> <ul style="list-style-type: none"> ●審議会(都市計画審議会) 公募委員3名・団体推薦1名(20名中) ※区民提案検討組織における参加状況は別紙参照 ●市民説明会 各区素案説明会7回(計317人、質疑72人) ●パブリックコメント ・素案縦覧(54通) ・案縦覧(8通) ●その他 ・区民会議委員からの意見募集(9通) 	<ul style="list-style-type: none"> ●審議会(環境審議会) 公募委員6名(30名中) ●審議会(環境審議会「緑と公園部会」) 公募委員2名(10名中) ●パブリックコメント(提出意見数32件) ●アンケート調査 ・市民アンケート(23件) ・市民意識実態調査(1500人対象) ・CSR等に関わる事業所緑化調査(49件) ●市民説明会 ・市民説明会3回 ・市民勉強会3回 	<ul style="list-style-type: none"> ●委員会(広場整備検討委員会) 公募委員26名(47名中) ●検討委員会 11回開催 ●検討委員会による自主調査 ・区民祭等におけるアンケート調査(670件) ・周辺公園の利用状況調査 ・子育てお母さん、老人会へのヒアリング(26名) ・小学生ワークショップ(32名) ・教育委員会、健康福祉局等へのヒアリング ・視察(世田谷区ねこじゃらし公園ほか) ●ワークショップ(市民報告会) 5回開催 ●庁内連絡調整会議 水道局、教育委員会、健康福祉局、宮前区役所、総合企画局、まちづくり局
	執行	※各局の個別計画・事業の中で対応	●審議会 多摩川プラン推進会議を設置し、プランの進捗状況を管理・評価する 公募委員5名(10名中)	●審議会 川崎市地域福祉計画推進検討会議を設置し、計画の進捗状況を管理・評価する 公募委員2名(20名中) ※各区では策定推進委員会が進捗状況を管理・評価する	※各局の個別計画・事業の中で対応	●審議会 ・環境審議会において、進捗状況を報告 公募委員6名(30名中)	●NPO法人による管理運営 広場全体の管理運営をNPO法人が行い、広場の一部であるビオトープ、花壇については、近隣の小学校、保育園と協働で管理
	評価	●審議会 政策評価委員会を設置し、川崎市が実施する施策等を評価する 公募委員3名(8名中)			—	●審議会 ・環境審議会による意見を参考として、概ね3年ごとに実施計画の効果を点検(予定) ・市民学習会の実施(予定)	—

分析の視点

①参加手法の組み合わせによる手続きの構成状況 ②PDCAの各段階における参加手法とその状況
 ③参加する市民の属性の違い(一般市民、利害関係者、事業者、団体代表者等) ④審議会等の種類の違い(政策形成型、事業推進型、連絡調整型等)
 ⑤区レベルの参加と全市レベルの政策形成の調整 ⑥国の法定計画と市の独自計画における参加手法と手続きの状況 ⑦新たな参加手法の可能性
 ⑧参加対応型の人材育成 ⑨参加型エリアマネジメントへの市のかかわり方 ⑩その他